

日本大学生産工学部及び日本大学大学院生産工学研究科における
授業評価アンケートの実施について

1 はじめに

FD(Faculty Development)推進の一つとして、本学部及び本研究科では「学生による授業評価」の実施について試行し、検討・実施してきた。平成16年度からは、新たに発足した教育開発センターが引き継ぎ、授業評価における検討を継続的に行っている。

教育の充実を図るには、教員の授業に対する最も有力な批判者としての学生から、教育改善に役立つ意見を吸い上げることはきわめて重要であり、それを効果的に授業改善にフィードバックすることが必要不可欠である。また、授業評価アンケートは、継続的な教育改善・教育サービスの一環として重要なものと位置づけられ、学生の批判・要求を知り、授業および教育環境を可能な限り改善し、教育の質の飛躍的な向上をはかるための有益な資料を得るために実施するものでもある。

2 授業評価アンケート実施方法

① 授業評価アンケートの対象

- ◇ 対象科目は当該年度開講の全科目とするが、一部の科目（学部は生産実習，卒業研究，春期・夏期等の集中授業，大学院は特別演習，特別研究，博士後期課程コースワーク科目等）を除く。
- ◇ 全学年を対象とする。

② アンケート質問項目および調査の方法

- ◇ 質問項目は全科目統一し、選択式の設定を13問及び記述式（自由記述）を1問に加えて、科目担当者が授業毎に設定できるオリジナル設問（選択肢5択）を2問設置する。
- ◇ アンケートは無記名式とする。
- ◇ WEBシステムを利用し実施する。
※平成16年度から令和元年度まではマークシート方式にて実施した。

③ アンケート実施期間

- ◇ アンケート調査の実施期間は前学期及び後学期ともに授業終了3回前から授業終了までを目安に実施する。

④ 調査手順

- ◇ 回答期間前に教員は担当科目のオリジナル設問2問を任意で設定する。
- ◇ 回答期間に学生はポータルシステム上のメッセージ及び授業中の教員の指示により各自でWEBシステムにアクセスし、回答する。学生は履修登録していない科目を回答することができない。
- ◇ 回答期間終了後、科目の開講所属単位で集計を行う。

⑤ 集計結果の公開

- ◇ 集計結果は学生及び教員に対しWEBシステム上で公開する。また、学部ホームページにも簡易集計結果を公開する。

⑥ 集計結果に対しての教員のコメント

- ◇ 令和3年度から、授業評価アンケートの結果を受けた授業担当教員からのコメントを、当該授業を履修した学生に対し公開可能としている。教員は、回答者の個人を特定しない形で、今後の授業改善に関して又は履修した学生へのメッセージ等をフィードバックすることができる。

[授業評価アンケートの変遷]

- ・平成16年度からマークシート方式による授業評価アンケートを学部で開始した。
- ・平成17年度から、学科及び学年を回答する欄を新たに設けた。
- ・平成21年度から2学科が新設されたため、学科選択欄の拡張により、オリジナル設問部分を1問減少させ、2問となった。
- ・平成22年度後学期から、設問10について「授業時間以外に、この科目を週平均で何時間勉強しましたか？」を「この科目の予習・復習・課題・レポート作成などに週平均で何時間費やしましたか？」に変更した。
- ・平成23年度から、設問4について「黒板・OHP・ビデオ・教科書・プリントなどの使用は適切で理解の促進に役立ちましたか？」の「OHP」を「パソコン」に変更した。
- ・平成25年度から、設問1について「「授業詳細」は、授業の内容、評価方法を適切に示していましたか？」の「授業詳細」を「シラバス」に変更した。
- ・平成26年度から、全学共通項目の設置に伴い以下のとおり変更した。また、マークシートをB5サイズからA4サイズに変更した。
 - ① 回答選択肢を4段階評価から5段階評価へ変更
変更前：「そう思う／ややそう思う／そうは思わない／全くそう思わない」等
変更後：「強くそう思う／そう思う／どちらとも言えない／そう思わない／全くそう思わない」等
 - ② 自由記述欄を裏面へ変更
 - ③ 全学共通項目を追加及び置き換え（設問2～7）
追加：「授業時間外の学修（内容、方法等）について、担当教員から具体的（シラバスに明記を含む）に示されましたか？」
「この授業科目を受けるに当たり、授業時間以外で学修（予習、復習、課題等）にどのくらい取り組みましたか？」
「この授業科目を受けるに当たり、授業時間外（授業終了直後を含む）に、担当教員に対し質問等をしましたか？」
「この授業科目に関し、授業時間外に、学生間で共に学修しましたか？」
「課題（レポート、小テスト等）に対し、担当教員から学生へのフィードバック（評価や講評等の開示）はありましたか？」
 - ④ 設問増のため、設問を統合（設問9）
変更前：「黒板・パソコン・ビデオ・教科書・プリントなどの使用は適切で理解の促進に役立ちましたか？」
「教師の話し方は明瞭で、聞き取りやすかったですか？」
変更後：「担当教員による授業技法（黒板・パソコン・ビデオ・教科書・プリント・話し方）は優れていて理解の促進に役立ちましたか？」
 - ⑤ 総合評価を追加（設問14）
追加：「総合的に判断して、この授業は意義のあるものでしたか？」

⑥ 達成度・満足度の設問を削除

削除：「この授業で知的な刺激を受け、さらに深く勉強したくなりましたか？」

⑦ 文言の統一（「教師」を「担当教員」に変更）

- ・平成30年度から、大学院で学部と同一の授業評価アンケートを開始した。
- ・平成30年度から、所属（学部・大学院）を新たに回答する欄を設けた。
- ・平成30年度から、クォーター制の導入に合わせて、設問3の「この授業科目を1週（回）受けるに当たり」を「この授業科目を1回受けるに当たり」に変更した。
- ・令和2年度から、WEBシステムを利用したオンライン方式による回答に変更した。
- ・令和2年度から、全学共通項目の追加に伴い「総合的に判断して、この授業は意義のあるものでしたか？」を「この授業は総合的にみて満足度は高かったですか？」に変更した。
- ・令和2年度から、オンライン授業の導入に伴い、設問4の「この授業科目を受けるにあたり、図書館をどのような目的で利用しましたか？」を「この授業科目を受けるにあたり、図書館（電子書籍やオンラインジャーナル等を含む）をどのような目的で利用しましたか？」に変更した。
- ・令和5年度から、全学共通項目の変更及び削除に伴い以下のとおり変更した。

① 設問の文言変更

変更前：「授業時間外の学修（内容、方法等）について、担当教員から具体的（シラバスに明記を含む）に示されましたか？」

変更後：「授業時間外の学修（予習・復習・課題等）をシラバスどおりに実施しましたか？」

② 設問の文言変更

変更前：「この授業科目に関し、授業時間外（授業終了直後を含む）に、担当教員に対し質問等をしましたか？」

変更後：「この授業科目の内容に関して、担当教員に対し質問等をしましたか？」

③ 設問の文言変更

変更前：「この授業科目に関し、授業時間外に、学生間で共に学修しましたか？」

変更後：「この授業科目の内容に関して、学生間で意見交換や議論はできましたか？」

④ 設問の文言変更

変更前：「課題（レポート、小テスト等）に対し、担当教員から学生へのフィードバック（評価や講評等の開示）はありましたか？」

変更後：「授業中の課題（レポート、小テスト等）に対し、担当教員から学生へのフィードバック（評価や講評等の開示）はありましたか？」

⑤ 設問の削除

削除：「この授業科目を受けるに当たり、図書館（電子書籍やオンラインジャーナル等を含む）をどのような目的で利用しましたか？」

以 上